
プレスリリース

ロンドン、2020年11月18日（水）午前0時1分

プラチナ需要が供給を上回り、2020年の不足予想は37トンに

- 2020年予測は、供給18%減に対し、需要は5%減に留まることから、37トンの不足
- 2021年の初回予測は供給17%増、需要2%増、7トンの不足
- ロックダウンの緩和により、2020年第3四半期は堅調な回復 – 供給48%増、需要75%増
- 世界的な高リスクと水素エネルギー社会におけるプラチナの重要な役割を背景に、2020年の投資需要は過去最高となる見通し
- 2021年の中国宝飾品需要は7年ぶりに増加予想
- プラチナは2021年に3年連続不足

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンスル（World Platinum Investment Council、以下 WPIC）は本日、2020年第3四半期の『*Platinum Quarterly*』（第25号）を発表しました。これには2021年初回予測も含まれています。

鉱山およびリサイクルによる供給は前四半期比で堅調に回復しましたが、自動車需要の回復が好調であったほか、プラチナをはじめとする貴金属への投資需要が持続したため、2020年第3四半期のプラチナ需要は供給を優に上回り、当四半期は22トンの不足となりました。現在、2020年は37トン不足、2021年は7トンの不足が予想されています。

全体として、2020年第3四半期は世界経済の状況が2020年上期比で改善したため、市場の多くの分野で需給ともに新型コロナウイルス感染症の世界的流行前の水準をほぼ回復しました。

2020年第3四半期のプラチナ総供給量は2019年第3四半期比5%減少しました。2020年第2四半期は前年比36%で、減少ペースは鈍化しています。当四半期は、鉱山の生産能力が拡大したため、鉱山からの総供給量は、2019年第3四半期の水準の4%弱（-2トン）減少しました。ただし、2020年の鉱山からの総供給量は前年比21%減少（-40トン）が予想されています。このうち約12トンは新型コロナウイルス感染症の流行を受けた鉱山の閉鎖、約28トンは上半期の触媒コンバーター工場の操業停止によるもので、最近では2020年11月から12月にかけての同様の停止も発表されています。直近の停止のみでも、2020年の供給量が約11トン減少する見込みです。

プラチナ投資需要は急増し、過去最高水準で推移

2020年第3四半期の投資需要はETF（+10トン）、地金およびコイン（+1トン）など、前年比291%増（+23トン）と大幅に増加しました。この一因は、マーケットメイキングをしている銀行による取引所在庫（主にニューヨーク証券取引所が承認した倉庫在庫）が増加し続けており、前年比11トン増加したためです。プラチナは金に対して大幅な割安で取引されており、プラチナをはじめとする貴金属は依然として魅力的なオルタナティブ投資であるため、2020年の投資

需要は 32% (13 トン) 増加すると予想されています。2020 年の地金およびコイン投資は健全な 123%増加が予想されています。2021 年にかけて需要は過去の基準で見て高水準を維持するでしょう。

第 3 四半期の自動車需要は前四半期比 70%増、2021 年は通期で 24%成長予想

新型コロナウイルス感染症の流行により工場の操業要件が影響を受けたことから、世界中で生産能力が低下しましたが、欧州などの自動車の繰延需要および販売奨励金が世界の自動車生産水準の成長を牽引しています。それに伴い、2020 年第 3 四半期の自動車のプラチナ需要は 2019 年第 3 四半期比をわずかに 3%下回りました。中国の一部の都市および省が小型車に排出ガス基準「国 6」を早期適用し、重量車の「国 6」遵守を厳格化したため、2020 年第 3 四半期の中国自動車プラチナ需要は前年比 68% (1 トン) 増加しました。

小型車生産は 15%、重量車生産は 5%、それぞれ増加する見通しであるため、2021 年の世界の自動車プラチナ需要は 24% (18 トン) 増が予想されています。排出ガス規制の厳格化に対応するための追加プラチナ使用も、需要が増加する要因となるでしょう。ガソリン車の自動車触媒においてプラチナがパラジウムを代用する可能性、ディーゼル後処理装置におけるパラジウムからプラチナへの一部シフトもプラチナにとって好材料となるでしょう。2021 年のガソリンエンジン代替需要の大半は、中国と北米で発生すると予想されています。パラジウム価格は 1 オンス当たり 1,000 ドル以上プラチナを上回った状態が続いており、自動車メーカーは販売不振によって利益の確保に苦慮しているため、代替への誘因は大きいと言えます。

2021 年の中国宝飾品需要は 7 年ぶりに増加予想

新型コロナウイルス感染症の世界的な流行に関連した規制が緩和されたため、2020 年第 3 四半期の世界の宝飾品プラチナ需要は前四半期比 27%増を回復し、中国では 14% (1 トン) 増加しました。2021 年の宝飾品需要は世界全体で 13% (8 トン) 増と予想され、全地域が二桁成長となる見通しです。

新型コロナウイルス感染症の流行当初の数か月間は、プラチナが低価格であったため、中国の宝飾品メーカーによるプラチナ輸入は堅調でした。中国政府は成果を上げているウイルス抑制プロトコルを継続することが予想されているため、消費の改善は継続し、2021 年のプラチナ宝飾品需要は 2013 年以降初めて増加することが予想されています (13%、3 トン)。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのポール・ウィルソン CEO のコメントは次の通りです。「自動車市場の V 字回復などの第 3 四半期の動向、ウイルスの流行に関連するリスクが牽引する貴金属投資需要の押し上げ、供給の大幅減少は、いずれも 2020 年に 37 トン不足、2021 年に 7 トン不足が予想される要因です。

現在ウイルスの流行による経済的コストを考慮すると、プラチナは他のソリューションを提供するうえで重要な役割を果たしています。内燃機関から電気自動車への程度迅速に移行できるかということと、関連するインフラのサポートに莫大な金額が必要であることが問題になっています。気候変動への対処は引き続き基本的な優先事項です。70 ヶ国に加え、EU、中国が二酸化炭素排出量の削減コストに注力し、脱炭素化への最善の道はグリーン水素であると認識しています。私たちは今、脱炭素化と水素を同時に語る段階に達しており、今後 15 年間の水素エネルギー社会を推進する戦略と政策が実施されています。

プラチナはグリーン水素および電気自動車の燃料電池の製造において重要な役割を果たします。今後 5 年から 10 年の間に、この分野のプラチナ需要は大きく成長するでしょう。一方で、これ

までプラチナ投資を検討していなかった多くの投資家は、プラチナに対する長期的な需要の戦略的な重要性に関心を持っています。こうした投資家がプラチナをよく検討した時、金およびパラジウムに対するプラチナの大幅な割安感、コスト効率、マイルドハイブリッドディーゼルのパワートレインにおける低 CO2 排出量によって、投資需要の成長が大きく高まることを理解するでしょう。

金およびパラジウムに対するディスカウントを受けたプラチナ価格の反応は、今年大方の予想よりも緩やかです。私たちは、当初新型コロナウイルスの流行に関連する移動制限に端を発するプラチナ先物市場に生じた停滞は、この鈍い反応に寄与したと考えています。

新型コロナウイルスのもう一つの間接的な影響は、中国におけるプラチナ宝飾品の成長予想にも表れています。中国の宝飾品メーカーは、プラチナ価格が低迷した 2009 年に在庫を増加させるためのプラチナ購入が有利だったことを覚えています。3 月にパンデミックが原因でプラチナ価格が下落した時、宝飾品メーカーは在庫水準を引き上げました。プラチナ宝飾品の製造、宣伝、販売は、そのディスカウントの価値をロックインし、メーカーや小売業者にとって金よりも利益率が高くなります。過去 7 年間、プラチナの宝飾品需要は毎年減少しているため、2021 年の増加予想は非常に好材料です。

本日のレポートは WPIC の歴史的な節目となる『Platinum Quarterly』第 25 号です。私たちが 2014 年に掲げた、行動可能なインサイトを投資家に提供するというコミットメントは、2020 年に正念場を迎えました。次の 25 号、さらにその後も全ての関係者にとって有意義で価値のあるインサイトを提供していきたいと思えます。」

プラチナ供給バランス (トン)	2018	2019	2020年度予想	2021年度予想	2020年度予想/2019年度実績	2021年度予想/2020年度予想	2019年第3四半期	2020年第2四半期	2020年第3四半期
供給									
製錬高	191	190	149	180	-22%	21%	48	29	46
南アフリカ	139	137	96	127	-30%	32%	35	16	33
ジンバブエ	14	14	15	14	4%	-2%	4	4	4
北米	11	11	11	11	-1%	5%	2	3	2
ロシア	21	22	21	21	-6%	2%	5	5	6
その他	6	5	6	5	10%	-8%	1	1	1
生産者製品在庫における増減 (+/-)	+0	+0	+1	+0	±300% ¹ 総	-100%	-1	+1	-2
鉱山からの総供給量	191	190	149	180	-21%	20%	47	30	45
リサイクル									
自動車触媒	60	67	60	65	-10%	8%	17	13	16
宝飾品	44	51	46	49	-9%	6%	13	10	12
工業	16	15	12	14	-16%	16%	4	3	4
工業	0	2	2	2	-3%	1%	0	0	0
総供給量	251	257	210	245	-18%	17%	63	43	60
需要									
自動車	96	90	75	93	-16%	24%	21	12	21
自動車触媒	91	90	75	93	-16%	24%	21	12	21
ノンロード	5	†	†	†	†	†	†	†	†
宝飾品	70	65	57	64	-13%	13%	16	12	16
工業	60	66	63	71	-4%	12%	18	11	16
化学	18	22	18	21	-16%	15%	5	4	4
石油	7	7	4	5	-47%	37%	2	1	1
電気	6	5	4	4	-6%	-1%	1	1	1
ガラス	8	7	15	15	113%	4%	3	1	4
医療	7	8	7	8	-6%	8%	2	2	2
その他	14	18	15	17	-16%	15%	4	3	4
投資	0	39	52	23	32%	-65%	8	12	31
地金、コインの増減	9	9	20	15	123%	-23%	2	4	3
ETF保有高の増減	-8	31	16	8	-47%	-53%	6	4	17
取引所在庫の増減	-1	-1	16	0	N/A	-98%	0	4	11
総需要	226	260	247	252	-5%	2%	62	47	82
残余量	25	-3	-37	-7	N/A	N/A	1	-4	-22
地上在庫	98	111**	73	66	-34%	-10%			

出典 : Metals Focus 2019 - 2021、SFA (Oxford) 2018 年

注記：

1. ** 2018 年 12 月 31 日現在の地上在庫 3,650 koz (114 トン) (Metals Focus)
2. † ノンロード自動車需要は自動車触媒需要に含まれます
3. Metals Focus および SFA(Oxford)のデータは、同一または直接比較で作成されているとは限りません
4. 2019 年以前の SFA のデータは、5,000oz 単位に四捨五入されています

メディア関連のご要望は、Elephant Communications にお問い合わせください

Guy Bellamy / Jim Follett / Jemima Woods

wpic@elephantcommunications.co.uk

編集者への注記：

『Platinum Quarterly』について

『Platinum Quarterly』は世界のプラチナ市場を四半期毎に分析するもので、独立した立場で実施され無料で提供される業界初のレポートです。『Platinum Quarterly』は、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルの刊行物です。2019 年以降は、白金族金属市場の権威ある独立機関である Metal Focus への委託により実施された調査と詳細な分析に主に基づいて作成されています。

World Platinum Investment Council (ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) について

World Platinum Investment Council Ltd. (WPIC、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシル) (WPIC) は、現物プラチナ投資に関する世界市場の権威として、客観的で信頼できるプラチナ市場情報に対する、投資者の方々の強いご要望を受けて設立されました。WPIC の使命は、行動可能な見識と目標を定めた商品開発を通じて、現物プラチナに対する世界の投資需要を喚起することにあります。WPIC は、南アフリカの主要プラチナ生産者により 2014 年に創設されました。WPIC の加盟会社は、Anglo American Platinum (アングロ・アメリカン・プラチナ)、Impala Platinum (インパラ・プラチナム)、Northam Platinum (ノーザム・プラチナ)、Royal Bafokeng Platinum (ロイヤル・バフォケン・プラチナ)、Sibanye-Stillwater (シバニエ・スティルウォーター) です。

詳細については、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください。

WPIC 事務局住所：World Platinum Investment Council, Foxglove House, 166 Piccadilly, London, W1J 9EF

Metals Focus について

Metals Focus は、世界の大手貴金属コンサルティング会社の 1 つで、世界の金、銀、プラチナ、パラジウム市場に特化し、調査、定期レポートの発行、予測、個別のコンサルティング業務を行っています。Metals Focus チームは 8 つの法域に分散し、世界中に多数の情報源を有しています。これを活かし、Metals Focus は、貴金属市場に関する世界レベルの統計、分析、予測を提供することに専心しています。

詳細情報は、ウェブサイト www.metalsfocus.com をご覧ください。

プラチナについて

プラチナは世界で最も希少な金属の 1 つで、独特の品質を持つため、様々な需要分野において高く評価されています。プラチナ特有の物性および触媒活性は、工業利用においてその価値を確立しました。同時に、貴金属としての独特な特質のため、高級宝飾品にも使用されています。

プラチナには、主に鉱山での生産とリサイクルの 2 つの供給源があります。後者は使用済み自動車触媒と宝飾品のリサイクルによるものが主流です。過去 5 年間の年間プラチナ総供給量（精製済みオンス）の 76%~78%は、鉱山で生産されたものです。

世界のプラチナ需要は堅調で、ますます多様化しています。プラチナ需要の 4 大主要分野は、自動車、工業、宝飾、投資です。

自動車触媒における過去 5 年間のプラチナ需要は、総需要量の 36%から 43%の間を推移しています。他工業分野でのプラチナの多様な使用は、世界総需要量の 23%となっています（過去 5 年間の平均）。同様に、宝飾品におけるグローバルな年間総需要は、平均で、プラチナ総需要の 31%を占めています。投資はプラチナ需要の中で最も小さいカテゴリーであると同時に、過去 5 年間で最も変化が大きく、総需要の 0%から 15%を占めています（地上在庫の増減を除く）。

免責事項

World Platinum Investment Council および Metal Focus のいずれも、投資に関する助言を提供するための規制機関による許可を受けていません。本書のいかなる部分も、投資に関する助言、証券もしくは金融商品の販売の提案または購入の助言を意図するものではなく、そのように解釈されるべきでもありません。投資を行う前に必ず適切な専門家による助言を受けてください。詳細については、ウェブサイト www.platinuminvestment.com をご覧ください

-ENDS-